

闇バイトを自分ごととして考えてみよう

- ① どんなことに、どんな理由でお金を使ってしまう可能性があるでしょうか。
ひとつずつカードを選んで、自分に起こりそうな状況を想像してみましょう。

どんなこと	1 押し活 <input type="checkbox"/>	2 買い物 <input type="checkbox"/>	3 課金・ガチャ <input type="checkbox"/>	4 ギャンブル <input type="checkbox"/>
	5 部活動 <input type="checkbox"/>	6 旅行・交通費 <input type="checkbox"/>	7 プレゼント <input type="checkbox"/>	8 食事・お菓子 <input type="checkbox"/>
	9 車・バイク <input type="checkbox"/>	10 クレジットカード <input type="checkbox"/>	11 洋服・ファッション <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
理由	A 自慢したくて <input type="checkbox"/>	B 勝ちたくて <input type="checkbox"/>	C 興味があって <input type="checkbox"/>	D イベントに行きたくて <input type="checkbox"/>
	E 好きになってほしくて <input type="checkbox"/>	F お金を増やしたくて <input type="checkbox"/>	G お金を返すために <input type="checkbox"/>	H ついつい使いすぎて <input type="checkbox"/>
	I スリルを味わいたくて <input type="checkbox"/>	J 壊してしまい弁償するために <input type="checkbox"/>	K みんなと一緒にいきたい <input type="checkbox"/>	L <input type="checkbox"/>

選択肢にない場合は自分で書いてみましょう

- 2 どんな募集コメントを掲示板にのせたら、「ちょっと怪しいけど自分もやってしまうかも」と感じるでしょうか。ヒントワードを参考にして、募集コメントを書いてみましょう。

💡 あなた

💡 あなた

バイト募集の情報です

1

💡 相手

これ、闇バイトじゃないの？

2

💡 あなた

①のヒントワード		
簡単な仕事	すぐに5万円もらえる	商品を買うだけ
高額支払い	荷物を運ぶだけ	引っ越し手伝い
すぐに稼げる	申し込むだけで1万円	あと2名だけ

②のヒントワード		
みんなやってる	絶対に安全	ホホワイト案件
国が保証	途中でやめられる	詐欺ではありません

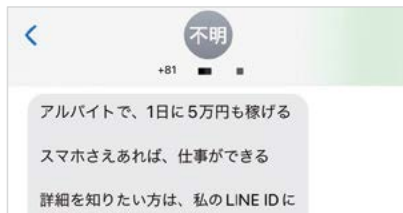


闇バイトの勧誘手口

1

SMS やメールで

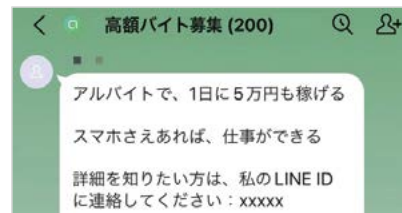
知らない相手から、SMSやメールで闇バイトの募集のメッセージが送られてきます。



2

LINE のオープンチャットで

バイトの紹介と称したオープンチャットで、闇バイト募集のメッセージが送られてきます。



3

LINE の1:1 トークで

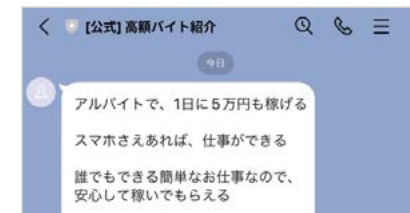
知らない相手（＝LINEの友だち追加していない相手）から、闇バイト募集のメッセージが送られてきます。



4

LINE公式アカウントで

外部サイトやSNSなどで、闇バイト募集の案内が掲載されています。



! 闇バイトの募集を受け取ってしまったら

闇バイトの募集では、「簡単な」「高額」「〇〇だけ」などの「すぐにできそう」と思わせることや、「安全」「ホワイト」「みんなやっている」などの「安心できそう」と思わせることがよくある手口です。

自分の楽しみを広げることは重要ですが、収入と支出のバランスを考えることが重要です。もし、どうしても困ったら身近な大人に相談することや消費者ホットライン（電話：188）に相談することも検討しましょう。

① 「ネットで発信しても大丈夫」な場面を考えてみましょう。

	1 家族への メッセージ	2 親友への メッセージ	3 仲の良い友だちへの グループメッセージ	4 誰でも見られる とく名の掲示板
Ⓐ バラエティ番組をみていて 「面白いからみて」と発信する				
Ⓑ サッカー日本代表の試合に対して、 「シュート外しすぎだろ」と発信する				
Ⓒ 芸能人のSNSの写真に対して、 「こいつ、写真加工しすぎだろ」 と発信する				
Ⓓ 友だちが水着になっている写真を、 顔がわからないようにして発信する				

○ : まあ大丈夫だろう

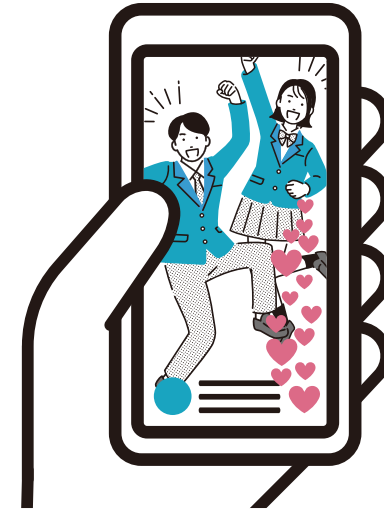
△ : 悩む・条件付き

× : さすがにマズいだろう

ネットの公開範囲



自分が知っている人だけに発信する
家族や友達とのメッセージなど



不特定多数に向けて発信する
掲示板サイトなど

! どの範囲までなら情報を公開してよいかな？

ネットの公開範囲は、家族や友達とのメッセージなどの自分が知っている人だけに発信するものと掲示板サイトなど不特定多数に向けて発信するものの大きく2つに分けられます。

ネット上でのコミュニケーションの中で加害者にならないために、どこまで発信するかを発信する内容と場所をセットにしてリスクを考えましょう。

- 1 あなたが投稿したSNSのコメント欄に、とく名の人から次のような書き込みがされました。それぞれの書き込みで、あなたなら誰に相談しますか？



	友達	家族・先生	通報機能	警察
1 この服、派手過ぎじゃない？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 こいつバカだろ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 こいつ前に テストでカンニングしてたらしいよ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 これ南中2年の○○だよ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



発信者開示請求



！ ネットは「誰が書いたか」わからない？

ネット・SNSでの適切な投稿のための基準があります。例えば、表現・脅迫系では、暴力的な表現や過激な表現を投稿する等です。このような投稿に対しては、アカウントの削除や利用停止措置が行われることもあります。

また、ネット上での不適切な発信は、被害者の申し立てにより誰が書いたかがわかるようになってきています。不適切な発信があった場合に、誰が書き込んだかを特定し、誹謗中傷した相手を訴えたり、慰謝料の請求を行ったりすることが可能となります。